

報告日 令和7年11月21日

報告回次 1日目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	社会福祉法人 大東市社会福祉協議会			代表者名	会長 今井 清
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	地域福祉活動推進G	連絡先電話番号	072-874-1082
担当者役職	課長補佐	担当者氏名	村尾 空見子	連絡先E-mail	
住所	574-0037 大阪府大東市新町13番13号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	大東市役所	連絡先部署	保健医療部高齢介護室		
担当者氏名	神田 裕子	連絡先電話番号	072-872-2181	連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	DX推進のための機運の醸成		
概要	大東市社会福祉協議会の職員を対象に、デジタルトランスフォーメーション（DX）に関する初の研修を実施する。単なるIT化やデジタル化ではなく、DXの本質である「変化を起こすこと」を理解し、職員が未来を見据えて自ら主体的に取り組む意識を育成することを目的とする。				
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 生成AI活用 ICT活用広報				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1.

対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	247K	令和7年11月17日	事前打合せ	オンライン
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年11月20日	事前打合せ(オンライン)	13時30分	15時00分	
				活動時間（分）	90

2-2.

派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	宮崎 昌美
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	・他市で実施した研修内容をご説明いただき、本会におけるDX研修の進め方を提案いただいた点。 ・本会の現状として、事業全体に占める記録作業が業務負担の大きな要因になっていることを伝えたところ、将来のAI活用や、音声入力連携についてアドバイスをいただいた点。
アドバイザーへの要望事項	2040年問題を自分事化し、職員が業務改善の視点を持つことを主軸にお願いしたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者

属性	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	1人
	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
人数	1			

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	・「紙文化」「個人スキル依存」「人海戦術」から脱却できない点 ・財政面の確保が難しく、デジタル化の疎外要因になっている点 ・効率化が図れていない業務が複数存在する点
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	・紙を起点としない業務設計が重要であり、DX推進において意識改革を行う。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	・研修支援 課題解決に向けた研修内容の事前調整。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	・AIは出来ないことをさせるより、できることを代替させる方が浸透しやすいということ。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
	研修に向けた事前打ち合わせのため、今回の成果物はありません。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	アドバイスいただいた、「紙を起点としない業務設計」については、2040年問題が自分事と捉えられるようになった上の次のステップとしたい。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)	
	アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 研修に向けた事前打ち合わせのため、アンケートは行っていません。	
4ー3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
	12月に3回にわたりDX研修を実施する。	
4ー4. 事業の最終的な目指す姿	・DXの本質を理解し、バックカスティングで考える視点を身に付け、業務効率化を図る。 ・職員自らが「変化を起こす主体」としての意識を持つ。	

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good practices/past year all houkoku/>

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。

